島根県道づくり調整会議

道づくりだより

152
2021.4-2021.5

主要地方道 出雲三刀屋線（伊萱工区）

— Contents —

1．	雲南市～出雲市間のアクセスが大幅に向上 （主）出雲三刀屋線 伊萱工区	道路建設課、雲南県土整備事務所	...P. 1
2．	福谷集落道の整備が完了しました!!	農村整備課	... 2
3．	山陰道「小浜～田万川間」（益田・田万川道路） Ｒ３年度事業着手！	高速道路推進課	... 3
4．	山陰自動車道＜安来道路＞（米子西ＩＣ～安来ＩＣ） ４車線化事業着手！	〃	... 4
5．	山陰道の進捗状況について	〃	... 5
6．	「ハートフルしまね」の紹介	道路維持課	... 6

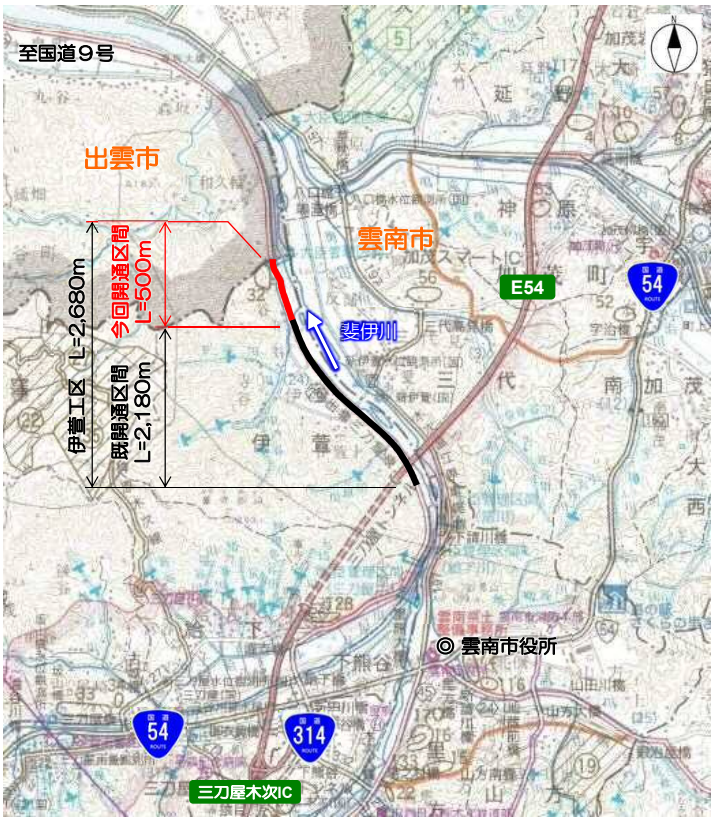
雲南市～出雲市間のアクセスが大幅に向上
～（主）出雲三刀屋線　伊萱工区　令和３年３月全線完成～

主要地方道出雲三刀屋線は、出雲市大津町の国道１８４号から雲南市三刀屋町の国道５４号に至る延長１５.７ｋmの道路で、雲南市と出雲市を結ぶ骨格幹線道路です。このうち雲南県土整備事務所管内において未改良となっていた出雲市境から2,６８０mの区間について、平成９年度より伊萱工区として整備を進めてきました。平成２１年度までに南側の1,７００mを供用し、その後寺谷川の付替えや樋門工事等を進め、平成３０年度には４８０mを供用し、このたび残る５００m区間の工事が完了し、出雲市境までの全線が完成しました。

完成まで２０年以上の期間を要し、この間、大規模切土計画から河川付替計画への変更などもありましたが、多くの方々のご協力により完成を迎えることができました。

この完成により、第一次緊急輸送道路としての機能強化、高次救急医療施設へのアクセス向上、バス路線の運行環境改善、安全安心な歩行空間の創出など、沿線地域の安全・安心や地域活性化に大きく寄与するものと期待されます。

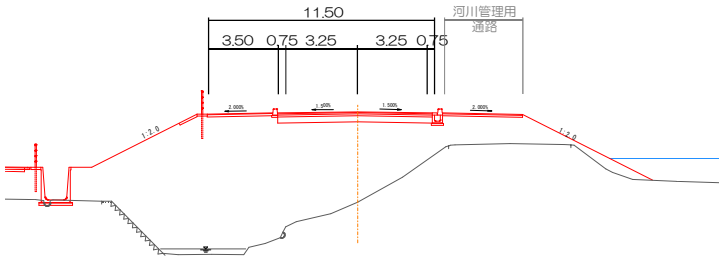
位置図



事業概要

箇　　所：雲南市三刀屋町伊萱地内
延　　長：Ｌ＝２，６８０m
期　　間：平成９年度～令和２年度（２４年）
総事業費：約３６億円
道路規格：第３種第２級　設計速度６０km/h
幅員構成：車道3.25m×２車線
　　歩道3.5m（片側）
工事内容：盛土工　　25万m３
　　舗装工　　4.2万m２
　　寺谷川樋門　１式

標準断面図



福谷集落道の整備が完了しました!!

本道路は、島根県西部の津和野町長福に位置し、県道津和野田万川線に接続する延長909mの農業集落道路です。およそ8haの農地に隣接しており、農道としての役割はもちろんのこと、地域住民の生活道路としても重要な役割を果たしています。

整備前の幅員はおよそ2．0mで細かいカーブも多かったため、車両同士のすれ違いができず、さらに歩行者と車両の離隔も十分に確保できない危険な状態にありました。このため、平成28年度から令和2年度にかけて工事を実施し、幅員4．0mに拡幅したことで、これまでの課題の解決に加え、農地への大型機械の搬入や、緊急車両の走行も可能となりました。

また、現在本地区は県営事業にてほ場整備工事を実施しており、法人として国や県が推進する高収益作物への取組も進めているため、本農業集落道路の完成と併せて今後ますます生産力の高い持続可能な営農が展開されることが期待されます。

『しまねの農業農村整備すごろく』キャラクター
ドジョウのどうじょ君

福谷集落道　位置図

＜事業概要＞

事業名　：　農山漁村地域整備交付金
（中山間地域総合整備事業）
地区名　：　高津川地区
工　期　：　平成28年度～令和2年度
延　長　：　909m
幅　員　：　全幅4．0m、車道幅員3．0m

整備状況

山陰道「小浜～田万川間」（益田・田万川道路）のＲ３年度事業着手！

山陰道の未事業化区間である益田以西のうち、益田市戸田町から山口県田万川町を結ぶ益田・田万川道路（約７．１km）が事業化されました。

本道路により、災害に対し信頼性の高い道路ネットワークの確保や物流ネットワークの確保、救急医療サービスの向上などの効果が期待されます。

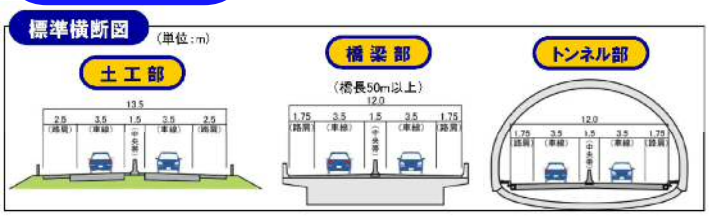
県としましては、１日も早く山陰道全線が供用されるよう、引き続き国に要望していきます。

計画位置図

計画概要

起終点	山口県萩市下田万～島根県益田市戸田町		
計画延長	7.1km	設計速度	80km/h
車線数	完成2車線		
計画交通量	約9,100台／日	乗用車 約3,100台／日	小型貨物 約1,500台／日 / 普通貨物 約4,500台／日
全体事業費	約370億円		

標準横断図



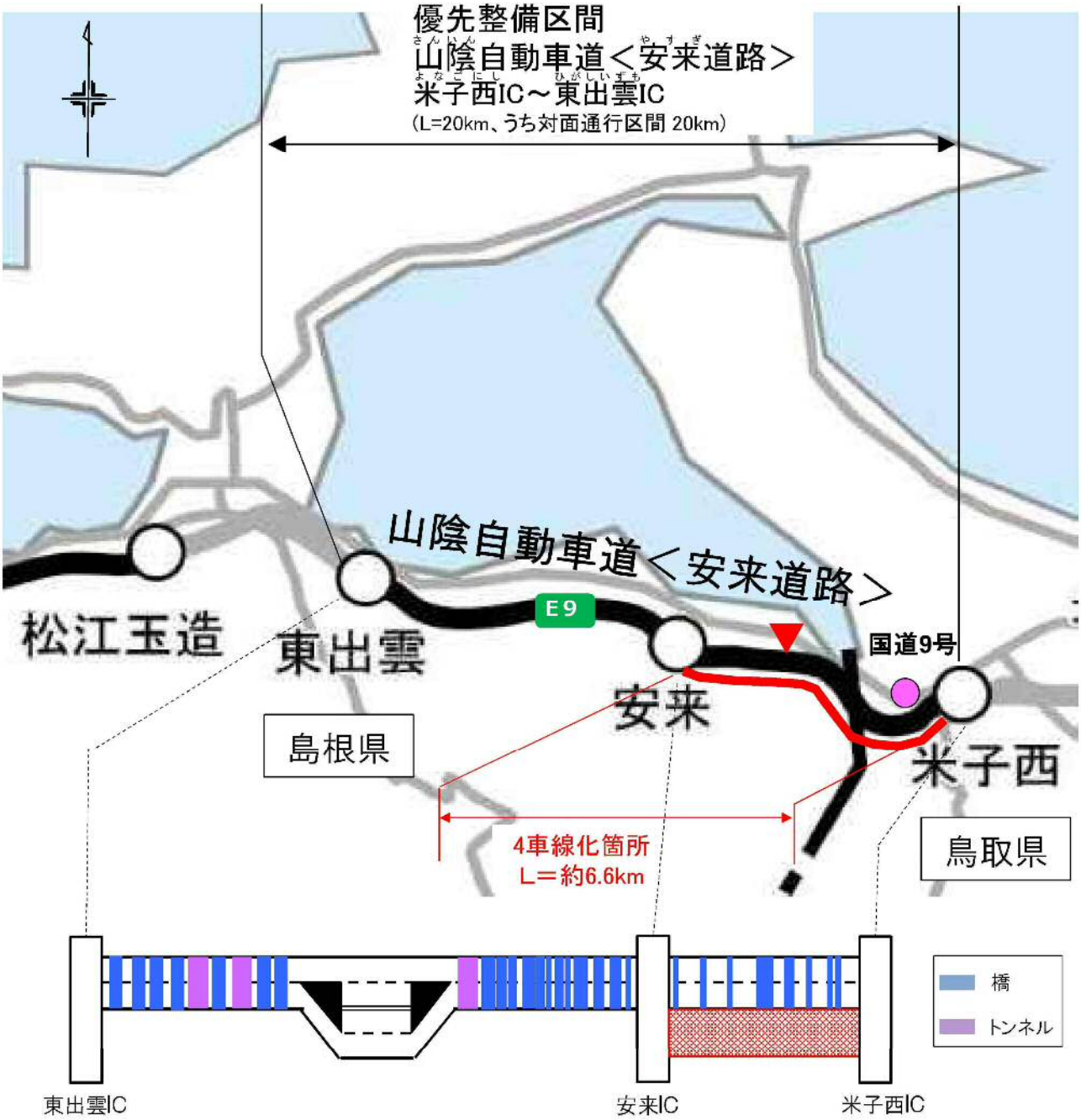
山陰道の整備状況

山陰自動車道＜安来道路＞（米子西ＩＣ～安来ＩＣ）の４車線化事業着手！

島根県内の高速道路の暫定２車線区間のうち、６９ｋｍが４車線化の優先整備区間に指定されています。このうち、安来道路の米子西ＩＣ～安来ＩＣ間（６．６ｋｍ）が令和３年度に事業化されました。

暫定２車線区間の４車線化により、渋滞の緩和や反対車線への飛び出し等による重大事故の減少、災害発生時及び除雪時の車線規制の削減など、安全性の向上や交通流の円滑化が期待されます。

県としましては、残る優先整備区間の４車線化が早期に事業化されるよう、引き続き国に要望していきます。



【凡例】

- 事業化区間
- 並行現道（９号線）の立往生発生箇所
- 並行現道（９号線）の急勾配箇所

山陰道の進捗状況について

令和３年４月２７日に中国地方整備局から山陰道の進捗状況の通知がありました。各区間の状況等は以下のとおりです。

（令和３年３月31日現在）

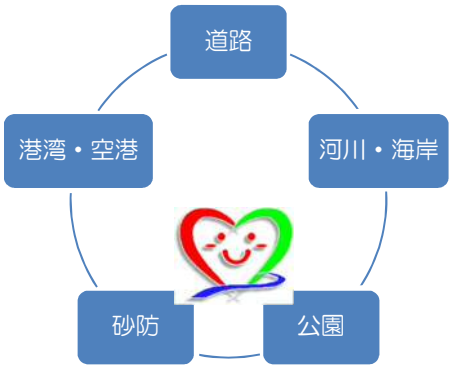
区　間	延　長	経　緯　等	事業進捗	用地進捗	開通時期
①出雲・湖陵道路	4.4ｋｍ	H20事業着手 H25工事着手	約80%	100%	R6※
②湖陵・多伎道路	4.5ｋｍ	H24事業着手 H27工事着手	約79%	100%	R6※
③大田・静間道路	5.0ｋｍ	H24事業着手 H27工事着手	約64%	100%	R5
④静間・仁摩道路	7.9ｋｍ	H20事業着手 H25工事着手	約85%	100%	R5
⑤福光・浅利道路	6.5ｋｍ	H28事業着手 R02工事着手	約15%	約87%	
⑥三隅・益田道路	15.2ｋｍ	H24事業着手 H27工事着手	約51%	約100%	R7※
⑦益田西道路	9.1ｋｍ	R02事業着手	約1%	0%	
⑧益田・田万川道路	7.1ｋｍ	R03新規事業化			

（注）朱書数字は開通予定年度
※開通時期は、大規模工事等が順調に進捗した場合

中国地方高速道路網

～つなげよう山陰道～　島根県高速道路推進課

「ハートフルしまね」の紹介



○「ハートフルしまね」とは

島根県では、平成２１年度から「ハートフルしまね(島根県公共土木施設愛護ボランティア制度)」というボランティア団体の支援制度を設け、県が管理する道路・河川・海岸・公園・砂防施設・港湾・空港施設等におけるボランティア活動を支援しています。

○「ハートフルしまね」について

このうち、県が管理する道路については、以前から「ハートフルロードしまね」としてボランティア団体を支援していました。　道路の草刈・美化活動をされる団体を、県が「愛護団体」として認定し、看板の設置・交付金の交付・保険への加入等に関する支援をしています。

令和３年３月末現在、６７３団体が「ハートフルしまね」(道路）の愛護団体に認定されています。

○活動に必要な経費が支給されます

美化活動については、ゴミ袋、軍手、苗、種、肥料などにかかる経費を交付金として交付しています(上限10,000円まで)。

また、草刈活動についても、活動にかかる経費を交付しています(年間１００㎡あたり１、５００円×面積×回数(年２回まで))。

○保険に加入しているので万一の事故の時にも安心です

ハートフルしまねの団体の活動にあたっては、構成員の皆さんを対象に、傷害保険・賠償責任保険に加入してもらっています。これにより、例えば、活動中に自分がけがをした場合、誰かにけがを負わせてしまった場合など保険の対象となります。

◎詳しくは、最寄りの県土整備事務所、または島根県土木部道路維持課までお問い合わせください。
◎島根県ＨＰで団体の紹介をしています。
http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/volunteer/